分担金・拠出金の名称	国際連合(UN)分担金	平成28年度 予算額	32,273,249千円	総合 評価	B
拠出先の国際機関名	国際連合				
国際機関の概要	<p>国連は1945年10月に設立(当初の加盟国数:51)され、現在193か国にて構成。</p> <p>【主要機関】 総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所、事務局</p> <p>【設立の目的】(国連憲章第一条) ・国際の平和および安全を維持すること ・諸国間の友好関係を発展させること ・①経済的・社会的・文化的又は人道的問題を解決すること、②人権及び基本的自由の尊重の助長奨励において、国際協力を達成すること</p>				
評価基準	達成状況				
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献	<p>国連は、世界のほぼ全ての国が加盟している普遍性と、扱う分野の広さ及びその知見に基づく専門性の観点から、他に類を見ない影響力を有する国際機関である。設立目的の一つである国際の平和及び安全の維持については、特別政治ミッションやPKOミッションの派遣を通して、紛争予防や平和構築に向けた貢献を行っている。また、開発分野では、昨年9月に持続可能な開発のための2030アジェンダを採択し、ミレニウム開発目標(MDGs)の残された課題(保健、教育等)や新たに顕在化した課題(環境、格差拡大等)に対処するために国際社会が取り組むべき目標を設定することにより、先進国及び途上国が一体となって持続可能な開発を実現するために必要となる指針を国際社会に対して示している。</p>				
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)	<p>我が国は、国連の各種フォーラムにおける意思決定に積極的に関与し、我が国の意向を反映してきている。具体的には、経済社会理事会及び人権理事会の理事国を務めており、こうした立場を通して開発及び人権分野における我が国のプレゼンスを確保するとともに、我が国が重視する政策が反映されるよう努めている。また、今年1月から安全保障理事会の非常任理事国として意思決定に貢献しているほか、安保理改革の議論を積極的に推進している。さらに、総会及び経社理の下部機関である各種委員会(会議委員会、計画調整委員会、人口開発委員会、統計委員会、社会開発委員会、婦人の地位委員会、犯罪防止刑事司法委員会、麻薬委員会、開発のための科学技術委員会)の委員国として、これらの活動を通じた我が国の外交課題実現を目指している。このように、我が国だけで実施することは人的にも財政的にも不可能な外交政策を、普遍的な国際機関である国連の場を通して実現してきている。</p>				
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント	<p>国連の予算は、内部監査(国連内部監査部:OIOS)及び外部監査(独立合同監査団:JIU)による評価を受け、結果は公表されている。また、国連会計検査委員会(BOA)による決算報告書において、財務状況説明や実施済みの事業について勧告を行っている。これらはいずれも、国連総会第5委員会において加盟国により審議され、事務局に対して必要に応じて勧告を行っている。さらに、国連は事務局の説明責任や効率的経営を強化するためのマネジメント改革を実施している。具体的には、国連事務局では2014年に国際公会計基準(IPSAS)、2015年に経営資源計画(Umoja)を導入し、国連の資産及び負債をより正確に把握することが可能となったほか、国連本部とフィールド・ミッションのシステムを統合し、各ミッションの財務報告に本部からアクセスできるようにすることで、適正な財政的管理を計ることが可能となった。</p>				
4. 当該機関等における邦人職員の状況	<p>国連事務局の専門職員以上に占める邦人職員の割合は、過去5年間3%前後で推移している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年6月末時点:2.7%(邦人職員81名/専門職以上全体数3001名) ・2014年6月末時点:2.9%(邦人職員83名/専門職以上全体数2901名) ・2013年6月末時点:3.0%(邦人職員88名/専門職以上全体数2907名) ・2012年6月末時点:2.7%(邦人職員60名/専門職以上全体数2245名) ・2011年6月末時点:3.2%(邦人職員65名/専門職以上全体数2049名) <p>また、国連事務局の邦人幹部職員(部長(D1)級相当以上)は、2015年6月30日時点で11人。</p>				
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保	<p>国連においては、以下のとおりPDCAを確保。</p> <p>①計画段階(Plan):国連総会第5委員会で2ヶ年予算案を審議。総会にて予算案を承認。②実施段階(Do):我が国の分担金支払。国連による予算執行。国連関係公館による国連の運営・活動のモニタリング。③評価段階(Check):内部・外部監査報告書により活動を評価。④フォローアップ(Act):計画調整委員会や総会、不定期の協議を通じて運営における要改善事項を申し入れ。</p>				
担当課・室名	総合外交政策局 国連企画調整課				